

■ 淡海ふれあい病院 OMI FUREAI HOSPITAL

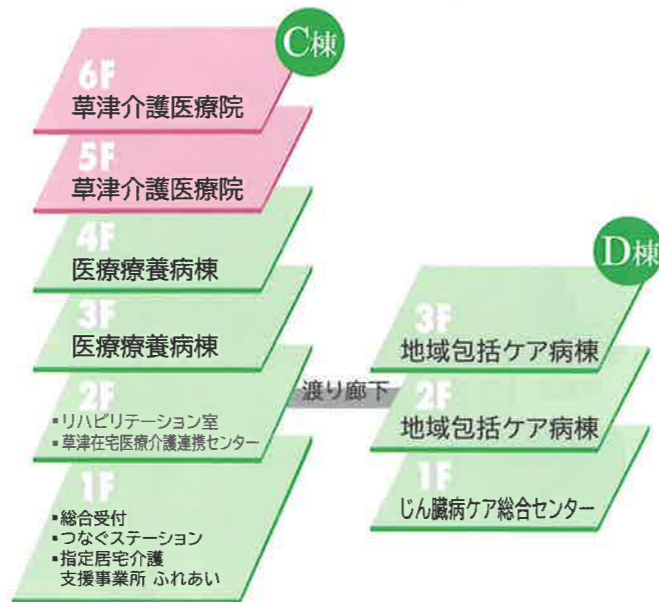
地域の皆様から信頼され社会から必要とされる中核病院として地域とともに発展し、社会に貢献することをお約束いたします。

少子超高齢社会を迎え、国は2025年のあるべき医療供給体制と地域包括ケアシステムを構築するために地域医療構想を提唱しています。私たちは地域医療構想の理念に基づき、地域の高齢者が安心して健やかに住みづけることができる地域共生社会の実現のため、新たな慢性期病院を立ち上げることになりました。それが、淡海ふれあい病院です。“淡海”とは、淡水の海を意味し、その昔は琵琶湖やその周辺を指し、旧国名としても使われてきた由緒ある歴史的な地名です。

また、“ふれあい”は病院理念にある信頼や安心、優しさを表現し、呼びやすさや言葉の持つ響きなどにも考慮して決定しました。地域社会とのふれあい、人と人とのふれあい、さらには医療の原点である心のふれあいを大切にしていきたいと思えます。



ひらの まさみつ
病院長 平野 正満



地域包括ケア病棟

2D・3D / 100床

急性期治療終了後、もうしばらく入院治療を必要とする患者さんの在宅復帰を目指し、診察・看護・リハビリテーションを提供する病棟です。

在宅復帰支援
入院期間：最長60日間

●在宅療養中のレスパイト入院

経管栄養・喀痰吸引・血糖コントロールなど医療にかかる依存度が高く、介護保険などのサービスが利用しにくい在宅療養中の方に対して、一時入院という形でバックアップすることを目的としています。



外来診療

成人の方の総合診察（内科・外科）を行っており、専門的な外来診療とともに長期的なフォローアップも行います。さまざまな健康上の悩みや、介護上の問題点などにも対応できる多職種による診療体制を整えています。協力医療機関として、草津総合病院との連携を図っています。

●在宅医療（訪問診療）

お一人で通院が困難な患者さまのもとに、医師が定期的に診察に伺う「訪問診療」と体の具合が悪くなった患者さまの求めに応じて訪問する「往診」を組み合わせながら、24時間365日、ご自宅での療養生活を支援していきます。



つなぐステーション

地域連携の窓口

回復期から慢性期の機能に特化した病院として地域に貢献できるように各関係機関との連携を強化し、より質の高い医療の提供に努めます。

地域医療サポートカー ▶



じん臓病ケア総合センター

70床

透析患者さんや、じん臓病ケアを必要とされる患者さんを受け入れるセンターです。腎臓内科外来に通院が始まった時から、そして透析が始まった後も、専門的知識を持った多職種のメンバーが密に連携を取り、患者さんによりよい時間を過ごしていただく手助けをしています。



医療療養病棟

3C・4C / 99床

退院までに退院調整に時間がかかり長期療養を必要とする患者さん対応の病棟です。療養中心の病棟となります。



草津介護医療院

こころ5C・なごみ6C / 100床

医療の必要な要介護高齢者の長期療養・生活施設となります。在宅として考えられる、介護保険施設です。



新病院開設のお知らせ

社会医療法人誠光会は2020年10月1日に新しい病院「淡海ふれあい病院」を開設しました。

患者さんの病状を考慮しながら適切な病院をご案内いたします。いずれの病院でも心をこめた対応をさせていただきます。



専門性豊かな急性期医療
草津総合病院

地域に根ざした慢性期医療・在宅療養支援
淡海ふれあい病院



■ 草津総合病院 KUSATSU GENERAL HOSPITAL



かしのき たつゆき
病院長 柏木 厚典



急性期病棟

ICU / 8床、HCU / 6床
4A・4B・5A・5B・6A・6B
7A・7B / 348床

緊急入院や手術・検査が目的
原則として14日程度の
短期入院期間



ドクターヘリ受け入れ



回復期リハビリ病棟

8B / 58床

脳血管疾患・骨折などの急性期治療後、身体的・社会的復帰を目的に集中的なリハビリテーションを行う病棟です。

60日～180日の入院期間

※疾患により異なる